

CASBEE-建築(新築)2024年版
(仮称)平和堂大久保店 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2024年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.37		-	3.1
1 音環境						2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル				—		3.0	0.40		-	
1.2 遮音						3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				—		3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能				—		-	-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				—			-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				—			-		-	
1.3 吸音				—		1.0	0.20		-	
2 温熱環境						2.8	0.35		-	2.8
2.1 室温制御						3.1	0.50		-	
1 室温				—		3.0	0.46		-	
2 外皮性能				断熱性能の高い建材を採用		4.0	0.19		-	
3 ゾーン別制御性				—		3.0	0.35		-	
2.2 湿度制御				—		2.0	0.20		-	
2.3 空調方式				—		3.0	0.30		-	
3 光・視環境						3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用						3.0	0.51		-	
1 昼光率				—		-	-		-	
2 方位別開口				—			-		-	
3 昼光利用設備				—		3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策						-	-		-	
1 昼光制御				—		-	-		-	
3.3 照度				—		-	-		-	
3.4 照明制御				—		3.0	0.49		-	
4 空気質環境						3.8	0.25		-	3.8
4.1 発生源対策						4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質				ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用		4.0	1.00		-	
4.2 換気						3.5	0.30		-	
1 換気量				換気量30m3/h・人以上		4.0	0.50		-	
2 自然換気性能				—		-	-		-	
3 取り入れ外気への配慮				—		3.0	0.50		-	
4.3 運用管理						4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				—		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御				全館禁煙		5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.2
1 機能性						3.0	0.40		-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性				—		-	-		-	
2 高度情報通信設備対応				—		-	-		-	
3 バリアフリー計画				—		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						2.6	0.30		-	
1 広さ感・景観				売場の天井高:3.6m以上		5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース				—		2.0	0.33		-	
3 内装計画				—		1.0	0.33		-	
1.3 維持管理						3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				防汚性の高い建材を使用等		4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				—		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				—		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				—		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				—		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				—		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				耐用年数の長い内装仕上げ材を使用		5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				—		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				給水(HIVP):B、排水(VP):B、冷媒(CU):C		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				—		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備				—		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				—		2.0	0.20		-	
3 電気設備				—		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法				—		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				—		3.0	0.20		-	

3	対応性・更新性		3.5	0.30		-	3.5
3.1	空間のゆとり		3.8	0.30		-	
1	1 階高のゆとり	-	3.0	0.60		-	
2	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 <0.1	5.0	0.40		-	
3.2	3.2 荷重のゆとり	【物販】2900N/m ² 、【工場】4500N/m ² 以上	4.0	0.30		-	
3.3	3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	
1	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20		-	
2	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20		-	
3	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
4	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
5	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20		-	
6	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20		-	
Q3	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.33		-	2.5
1	1 生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30		-	2.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40		-	3.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50		-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50		-	
LR	LR 建築物の環境負荷低減性						3.1
LR1	LR1 エネルギー		-	0.40		-	2.5
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	-	3.0	0.20		-	3.0
2	2 自然エネルギー利用(直接利用)	-	3.0	0.10		-	3.0
3	3 設備システムの高効率化		2.3	0.50		-	2.3
	集合住宅以外の評価		2.3	-		-	
	集合住宅の評価					-	
4	4 効率的運用に向けた取組み		2.6	0.20		-	2.6
	集合住宅以外の評価		2.6	1.00		-	
4.1	4.1 モニタリング	-	3.0	0.40		-	
4.2	4.2 運用管理体制	-	2.0	0.40		-	
4.3	4.3 非化石エネルギーの導入の拡大	-	3.0	0.10		-	
4.4	4.4 コミッショニングの推進	-	3.0	0.10		-	
	集合住宅の評価					-	
4.1	4.1 モニタリング	-				-	
4.2	4.2 運用管理体制	-				-	
LR2	LR2 資源・マテリアル		-	0.30		-	3.6
1	1 水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
1.1	1.1 節水	主要水栓等に加えて省水型機器を過半数以上に採用	4.0	0.40		-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70		-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30		-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		3.8	0.60		-	3.8
2.1	2.1 材料使用量の削減	スーパーEデッキ、Hybridニーディング工法の採用等	4.0	0.10		-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20		-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	リサイクル材を3品目採用	5.0	0.20		-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10		-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材の分離が容易等	5.0	0.20		-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20		-	3.6
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	PRTR法非該当建材を1種別以上採用	4.0	0.30		-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70		-	
1	1 消火剤	-	-	-		-	
2	2 発泡剤(断熱材等)	ODP<0.1<GWP<10発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	0.50		-	
3	3 冷媒	-	3.0	0.50		-	
LR3	LR3 敷地外環境		-	0.30		-	3.2
1	1 地球温暖化への配慮	高効率な設備機器の採用によるWLC排出率の削減	3.8	0.33		-	3.8
2	2 地域環境への配慮		2.8	0.33		-	2.8
2.1	2.1 大気汚染防止	燃焼機器の設置無し	5.0	0.25		-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50		-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25		-	
1	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25		-	
2	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
3	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25		-	
3	3 周辺環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	1 騒音	-	3.0	1.00		-	
2	2 振動	-	-	-		-	
3	3 悪臭	-	-	-		-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
1	1 風害の抑制	-	3.0	0.70		-	
2	2 砂塵の抑制	-				-	
3	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30		-	
3.3	3.3 光害の抑制		3.7	0.20		-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「広告物証明の扱い」の配慮事項の過半を満足	4.0	0.70		-	
2	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30		-	

